

# 会報 明石のぼうさい

編集発行/明石防火協会(明石市消防局予防課内)  
〒673-0044 明石市藤江924番地の8  
TEL(078)918-5272 FAX(078)918-5983  
ホームページアドレス: <http://www.akashi-bouka.jp/>



## 令和四年度 明石防火協会総会開催



去る四月二十一日(木)、明石市防災センター多目的ホールにおいて、リモート形式で明石防火協会総会が防火協会の会員六十三事業所が参加して開催されました。総会は、はじめに朝比奈会長、泉市長、長谷川消防局長からあいさつがありました。その後、議長を会長にお願いし、議案の審議に入りました。議案は令和三年度の事業報告及び収支決算に続いて、令和四年度の予算(案)、事業計画(案)及び役員改選(案)について慎重な審議の結果、いずれも満場一致で承認されました。



この度、令和四年四月一日付で消防局長に就任いたしました長谷川でございます。防火協会の会員の皆様には、日々、消防防災体制にご尽力をいただいていることに敬意を表すとともに、本市消防行政に格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

### 消防長就任ごあいさつ

明石市消防局長 長谷川 健

一昨年から続く新型コロナウイルス感染症もまだ予断を許さない状況であり、今なお多数の感染者が発生し、皆様におかれましても様々な影響も出ていることと存じます。さて、火災では、当市の火災件数は皆様の火災予防の取組みによって、横ばい若しくは減少傾向となっているものの、他市であります。令和元年の京都アニメーション火災、昨年十二月の大阪北新地ビル火災は多数の死傷者が発生した痛ましい事件であるとともに、放火という防ぐのが困難な火災でありました。地震、台風、豪雨などによる大規模な自然災害についても近年当市では発生していませんが、いつどこで起きてもおかしくない状況ですので、今一度、当市が作成したハザードマップで確認をお願いいたします。救急件数は高齢化の進展と当市の人口増により、しばらくは増加していくと推測されます。これらの変化を的確に把握し、大規模かつ複雑多様化する災害や激甚化する風水害救急需要増加への対処など、様々なリスクに応じた柔軟な対応を図りつつ、消防・救急体制の更なる充実強化を進め、持続可能な日常の安全・安心を実現していかなければなりません。そのためには、防火協会の皆様をはじめとする関係機関と緊密な連携を図り、最善を尽くす所存でありますので、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様とともに、皆様の益々のご健勝とご発展を心から祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

## 令和2年 2/1施行 ガソリンを携行缶で購入される皆様へ

ガソリンの適正な使用を徹底するため、ガソリンを携行缶で購入される方に対して、

- 消防法で ① **本人確認** (運転免許証の提示など)  
② **使用目的の確認** を行うとともに、

**販売記録を作成することが義務付けられています。**



### ⚠ ガソリンを取り扱うときの注意事項 ⚠



**！噴出注意！**  
★周囲の安全を確認  
★フタを開ける前に  
①エンジン停止  
②エア抜きをする  
★高温の場所禁止

ガソリン携行缶に貼られている注意事項に留意して取り扱ってください!!



皆様のご理解とご協力をお願いいたします





**令和四年度 兵庫県危険物安全・安心大会**

令和四年六月九日(木)兵庫県公館において、危険物の保安に関する意識の高揚を図るとともに、自主保安体制の確立を推進し、危険物に起因する事故災害の防止を図るために、危険物安全・安心大会(主催 兵庫県、公益財団法人兵庫県危険物安全協会)が行なわれました。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、表彰式のみで開催となり、次のおり明石市内の防火協会員が受賞されました。

- 兵庫県知事表彰  
(優良事業所)株式会社大和化成研究所 明石工場
- 公益財団法人 兵庫県危険物安全協会代表理事表彰  
(優良取扱者) 星光P.M.C株式会社 明石事業所  
大森 智之氏  
(優良事業所) 山陽電気鉄道株式会社 東二見車両工場



**株式会社大和化成研究所 明石工場の事業内容**

一九六三年十二月大和化成株式会社を創立。四年後(昭和四十二年)に研究開発と製造を行う株式会社大和化成研究所として創立され一九八二年(昭和五十七年)より神戸市西区平野町の平野工場から工場移転、生産体制を強化し増産増築し進化しながら操業をしています。

明石工場は表面処理薬品としてめっき薬剤、防錆剤、紫外線吸収剤と合成化学品の生産を中心に製造しております。めっき薬剤は低環境負荷、高機能で高品質な製品として国内外に提供しています。

防火・防災については、昭和五十八年に防火協会に入会。毎年消火機器の点検、全社員による消火・避難・救護訓練等を実施し、防災管理体制の充実な強化を図っています。本年、その一環で国際規格のISO45001を取得。



**山陽電気鉄道株式会社 東二見車両工場の事業内容**

昭和四十三年五月二十五日にこれまでであった明石工場(西新町)を廃止し、近代的な車両保守工場として完成し五十四年目を迎えました。

工場では、電車の検査や改造工事等を施工しております。電車も自動車と同じように法的な検査が定められており、走行距離や年数に応じた検査を行っています。また、工場に隣接する東二見車庫には車輪削盤を設け

**表彰された優良事業所の紹介**

であり、車輪を切削し元の形状に修正することで車両の安定走行と乗り心地の改善を行っています。

電車の検査はお客様の目には触れることはありませんが、日々安全で快適な電車にご乗車していただくため保守設備の更新や社員教育を実施しながら操業しております。近年コロナ禍で開催できていませんが秋に開催する鉄道フェスティバルでは一般の方に開放し見学いただいております。

防火の取り組みは、年末に行う総合訓練(通報・避難・消火)随時行う消火器・消火栓の取り扱い訓練、毎月の安全パトロール等を継続して行っています。

**訓練用資機材購入について**

この度、消火訓練用の資機材として「楽々消防隊」を購入しました。

この装置は、LPガスを燃料として炎を発生させ、より本格的な消火訓練が行なえます。

また、炎の発生や消火は手元のスイッチで行うことにより、安全で安心かつ手軽に操作が可能となります。

今後、自衛消防隊訓練などで積極的に活用していきたいと考えています。



**自衛消防隊新任訓練を実施**

コベルコ建機株式会社 大久保事業所

コベルコ建機株式会社 大久保事業所の新入社員三名が四月二十二日(金)、消防局に体験入隊しました。

自衛消防隊員としての基礎的な技術習得と厳しい環境の中で、礼節や協調性を身に付けてもらうのが狙いです。

同社は新任教育の一環として数年前から毎年、体験入隊を行っています。

午前は、「自衛消防隊について」の座学に始まり、訓練礼式のほか、消火器や屋外消火栓設備等の取扱いを習得しました。午後からは体力錬成を行ったのち市民救命士講習を受講しました。

訓練を終えた、池内翔真さんは「明石消防で一日学ばせてもらい、火災が起きた場合の対処方法などを知ることができました。トレーニングも一部体験させてもらい、消防士の方々がどれだけ努力をしているのか知ることができました。救急救命講習も受け、もしもの時に適切な対処ができるよう、今回のことを忘れないようにしていきたいと思いました。」

稲井悠さんは「今回の研修を行って思ったことは、工場で火事が実際に起こった時、研修をするまでだったら、すぐに行動はできなかったと思います。しかし、消火の方法などを知ったので、もしものことがあってもすぐに行動することができると思いました。また、配属されるまでにAEDや消火器の場所も確認しておこうと思いました。」

越智来希さんは「AEDは心臓が止まっている人に使う物ではなく、心臓が痙攣しているのを止めて安定した動きに戻す物だと初めて知りました。また、工場内のAEDの場所や避難経路などをしっかりと確認しようと思いました。」と感想をいただきました。



体力錬成

訓練礼式



救命講習

放水訓練

**危険物取扱者試験**

試験日	受験地	電子申請の受付期間	書面申請の受付期間	試験種類
令和4年9月18日(日)	神戸・姫路・西宮等	令和4年7月29日(金)~8月5日(金)	令和4年8月1日(月)~8月8日(月)	甲種 乙種1~6類 丙種
令和4年11月27日(日)	神戸・姫路・加古川等	令和4年10月4日(火)~10月11日(火)	令和4年10月7日(金)~10月14日(金)	
令和5年3月5日(日)	神戸・姫路・西宮・加古川	令和5年1月13日(金)~1月20日(金)	令和5年1月16日(月)~1月23日(月)	

**甲種防火管理講習会**

講習日	講習場所	定員	受付期間	実施機関・問い合わせ
令和4年9月8日(木)~9月9日(金)	相生町2-7-12 明石市立勤労福祉会館	各100名	令和4年7月25日(月)~8月1日(月)	日本防火・防災協会 ☎03-3591-7121
令和4年12月8日(木)~12月9日(金)			令和4年10月20日(木)~10月27日(木)	

**令和四年度 明石市危険物安全講演会開催**

危険物の保安に関する意識の高揚及び啓発を推進するため、全国的に六月第二週を危険物安全週間としております。

令和四年度危険物安全週間事業の一環として、令和四年六月十日(金)にリモート形式(参加事業所数四十四事業所、参加者数百十七名)にて明石市危険物安全講演会を開催しました。

この講演会では、主に危険物施設を対象とした講演会となりましたが、危険物施設を保有する事業所以外にも、医療福祉施設や旅館ホテル施設など幅広い分野の事業所が参加されました。

講師 一般財団法人全国危険物安全協会  
業務部企業防災対策室 審議役 菅野 浩一氏  
演題 「危険物施設の事故事例(平成と令和を比べてみると)」



「お出かけは マスク戸締り 火の用心」

「一連の 確かな所作で 無災害」

令和4年度 危険物安全週間標語